

大型ソックスレー抽出装置 2ℓ ガラス部セット

取扱説明書

概要

本装置はセパラブル型（内径 100）の抽出部を採用しており、比較的大きいサンプルでも投入することができます。特にダイオキシン類の分析においては、前処理（ウレタンフォームの洗浄）や、サンプリング後の抽出に適しています。又、それぞれ接続部にはノングリースで使用できる SPC を採用していますので、グリースが溶け込んだりセメント化するのを防げます。

1. 構成部品

No.	品目コード	品名	数量
	030100-292	SPC 丸底フラスコ 2L SPC29	1
	032080-202	大型ソックスレー抽出装置 抽出器 2ℓ用	1
	032080-201	大型ソックスレー抽出装置 冷却器 2ℓ用	1
	005930-100	セパラブルフラスコ用取付バンド 100	1
	030500-15	SPC 排気管ゴム止付 SPC15	1
		O リング エコーパーフロ G110	1

2. 安全上の注意

組み立ての際は衝撃を与えたる、曲げの力を加えないでください。

破損する恐れがあります。

使用前に点検してキズやカケのあるものは使用しないでください。

破損する恐れがあります。

本装置を使用の際は火気のない排気装置のある場所で使用してください。

抽出中は必ず排気管で大気開放してください。

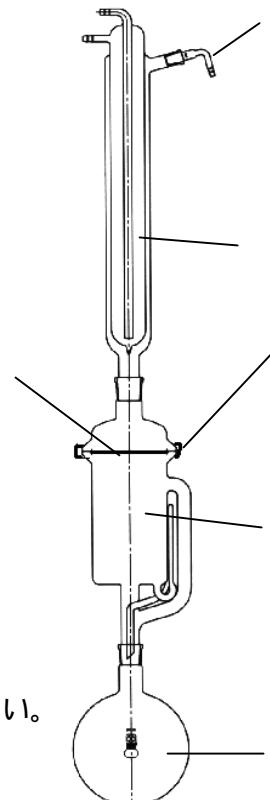
密閉の状態になると内圧が上昇し、爆発の恐れがあります。

洗浄の際は、金属たわしや、研磨剤入りのスポンジは使用しないでください。

破損の原因になります。

中身の入ったフラスコを持つ場合は底部を持ってください。

落下して事故の原因になります。



3. 使用上の注意

マントルヒーターでの加熱は、マントルヒーターの取扱説明書を良く読んで行ってください。

排気管から蒸気が出ない様に加熱部の温度と冷却水の温度、及び水量を調整してください。

締め付けバンドは過度に締めないでください。

構成部品のOリングはアセトンやトルエンに対して特に耐薬品性の有るものを使用しています。

次ページを参照してください。尚、特殊な溶媒を使用する場合は適切なOリングをご使用ください、液漏れの恐れがあります。

パーフロの耐溶剤性・耐薬品性一覧（化学的性質一覧より抜粋）

薬品類	試験条件	評価	
(ケトン、エステル、エーテル類)			
アセトン	40 × 2 1 d	A	
メチルエチルケトン	40 × 2 1 d	A	
メチルイソブチルケトン	40 × 2 1 d	A	
イソホロン	40 × 2 1 d	A	
ジエチレンカーボネート	40 × 2 1 d	A	
アセチルアセトン	40 × 2 1 d	A	
蟻酸メチル	40 × 2 1 d	A	
酢酸メチル	40 × 2 1 d	A	
酢酸エチル	40 × 2 1 d	A	
酢酸イソアミン	40 × 2 1 d	A	
アセト酢酸メチル	40 × 2 1 d	A	
アセト酢酸エチル	40 × 2 1 d	A	
アクリル酸	40 × 2 1 d	A	
アクリル酸メチル	40 × 2 1 d	A	
シュウ酸ジェチル	40 × 2 1 d	A	
マレイン酸ジメチル	40 × 2 1 d	A	
ジェチルエーテル	40 × 2 1 d	B	
1.4 - ジオキサン	40 × 2 1 d	A	
メチル-t-ブチルエーテル	40 × 2 1 d	B	
(炭化水素、ハロゲン化炭化水素類)			
n - ヘキサン	40 × 2 1 d	A	
シクロヘキサン	40 × 2 1 d	B	
イソオクタン	40 × 2 1 d	B	
デカリン	40 × 2 1 d	A	
ベンゼン	40 × 2 1 d	A	
トルエン	40 × 2 1 d	A	
キシレン	40 × 2 1 d	A	
エチルベンゼン	40 × 2 1 d	A	
ニトロベンゼン	40 × 2 1 d	A	
モノクロルトルエン	40 × 2 1 d	A	
1.2 - ジクロルベンゼン	40 × 2 1 d	A	
クロロホルム	40 × 2 1 d	A	
四塩化炭素	40 × 2 1 d	B	
塩化メチレン	40 × 2 1 d	A	
トリクロルエチレン	40 × 7 d	A	
テトラクロルエチレン	40 × 2 1 d	B	
テトラクロルエチレン	100 × 21 d	B	
1.2 - ジブロムエタン	40 × 2 1 d	A	
ダイフロソルベント S3 (R-113)	40 × 2 1 d	D	
ダイフロソルベント S2 (R-112)	40 × 2 1 d	C	
ダイフロイル#10 (フッ素油)	40 × 2 1 d	C	
ダイフロイル# 1 (フッ素油)	40 × 2 1 d	C	

注) 体積増加率
(体積膨潤)
A : 0 ~ 5 %未満
B : 5 ~ 10 %未満
C : 10 ~ 20 %未満
D : 20 %以上

注意：フッ素ゴムはアセトンに対して烈しい影響を受け使用は不可です、ご注意ください。

01.02.16H(01)



本社 〒110-8701 東京都台東区池之端 3-1-25

東京営業所 ☎03-3822-2111 福岡営業所 ☎092-471-5515

大阪支店 ☎06-6356-8131 仙台営業所 ☎022-308-6341

名古屋営業所 ☎052-263-9310 営業推進課 ☎03-3822-2114

<http://www.sibata.co.jp/>

カスタマーサポートセンター（製品の技術的サポート専用）

TEL 0120-228-766 FAX:03-3822-2126